

学生取材レポート

～金管楽器の授業～

学生広報委員

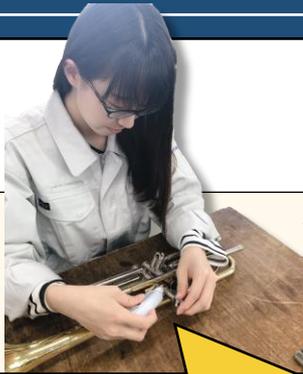


藤江 林 工藤

授業紹介

メンテナンス

トランペット・トロンボーン・ホルンのメンテナンス方法を学びます。グリスとオイルの違いなど、基礎から始まります。いかに速く丁寧に出来るかが大切です！



トランペットのピストンにオイルを差しています。オイルを差すことで、ピストンの動きをスムーズにすることができます。

金管の授業では、3種類の楽器を段階的・体系的にマスターしていきます。

トランペット



ホルン



トロンボーン



溶接

Before

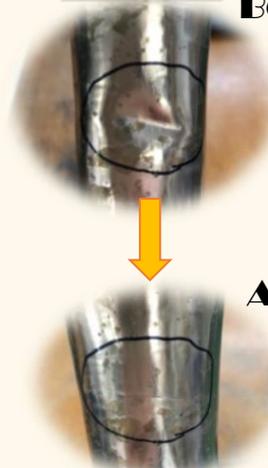


After

外れてしまった部品をはんだやろうを使うって直す、『はんだ付け』や『ろう付け』を学びます。はんだが流れやすいタイミングの見極めや、火を扱うので、やけどに気を付けながら溶接を行います！加熱した部分は200℃にもなります！

凹出し

Before



After

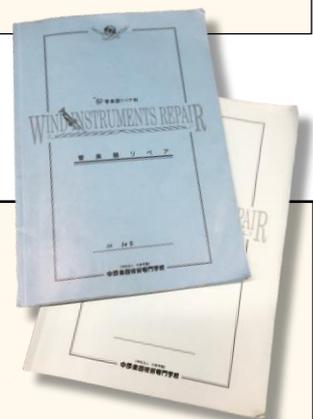


ぶついたり、落としたりしたときに生じた凹みを直す実習です。こする・叩くなどの方法で凹みを出していきます。素材の違うハンマーを使い分けたり、叩く強さを変えたりと、自分で工夫しながら作業をする必要があります！

金管楽器の修理はなぜ必要？

管楽器は息を吸って発音するため、日常的なメンテナンスが必要です。金管楽器は、部品の外れや凹みがあると、音色が悪くなります。また、凹みをそのままにしておくと、楽器の素材の特性で直りにくくなってしまいます。

私たちは、楽器の性能を維持するために、細やかな調整や部品交換といった知識・技術を身につけるため、業界の方々と創り上げたオリジナルテキストで学んでいます。



Q&A

Q1. 金管の授業はどのような点が楽しいでしょうか？

体全体を使った修理で、直った部分が視覚的・触覚的に分かるところが楽しいです。
直ったときの達成感や充実感がとてもあります。



クラスメイトと教え合いながら、授業に対する理解を深めることができます。



Q2. 高校生の間にしておくべきことは何だと思えますか？

高校生の間に楽典の勉強をしておくのが良いと思います！
楽典は、「音楽の文法」などと言われ、演奏などに必要な知識です。
演奏者を相手にするお仕事のリペアマンにとって、大切な学びです。

Q3. 学校とバイトの両立はできていますか？

出来る人はちゃんとできてますよ！ですが、放課後に残って授業の復習をしたい日もあるので、バランスを考えながら、バイトをしています。中には、バイト代を学費に補填したり、接客マナーなどの社会性を身につける目的でバイトをしている学生もいます。



放課後の時間を使って演奏の練習や技術の向上を目指すこともできます。
さらに、担任の先生が、時間の許す限り、きめ細かく指導してくれます。

先生紹介

岩井恭司先生



最初は上手くいかなくても、できるようになるまで丁寧に、優しく教えてくれる先生です！
現場経験も豊富で、役立つ情報を伝えてくれて、新しい発見もできます！

篠原慶丞先生



とても気さくで話しやすい先生です！知識が豊富で、どんな質問でも答えてくれます！
自分自身で考えることの大切さを教えてくれ、どんどんチャレンジさせてくれます！

